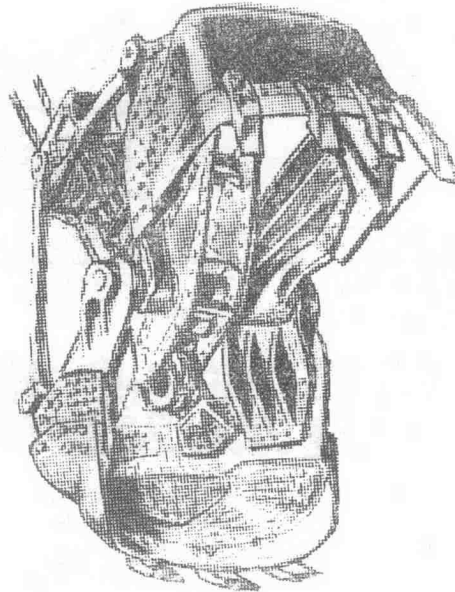


建 設 の 機 械 化

Mechanization of Construction



(掘削機械特集 第二号)

目 次

我國の掘削機械工業について	荒 井 勉	(1)
綜合開発こぼれ話——特定地域指定まで—— (I)	小 林 元 椽	(2)
掘削機械の作業量に関する一考案——機械に全能力を発揮させよう	原 島 龍 一	(5)
建設機械の運転歩掛りについて	斎 藤 義 治	(6)
建設機械化十年史 (一技術者の回想) (5)	加 藤 三 重 次	(12)
建設機械運転作業の労働衛生学的調査報告	牧 直	(14)
ドレッジスクレーパによる河床掘削工事について	建設省千曲川工事々務所	(15)
サスペンションドレッジヤに就て	柴 田 太 郎	(19)
日立製 ULO 5 パワーショベルの使用状況及び分解記録	畑 中 由 弘	(24)
抄訳——パワークレーンとショベルに就て	門 脇 実	(28)
機械化施工の実績記録用語について	施 工 部 会	(31)
掘削機械作業実績 (農林省, 東京操機)		(33)
掘削土工機械化の現状	佐 野 忠 行	(35)
講座——海外の新しいトラクターI——	増 田 正 三	(43)
講座——機械化の経済問題—II— (その二の上) 償却費と維持修理費	中 岡 二 郎	(50)
質問のおこたえ		(53)
編集後記		(54)

「表紙写真」神戸製鋼所製 35 K 型ディーゼルショベル

掘器容量 1.2 m³ 掘削速度 1 km/h 巻上速度 24.5 m/min 旋回速度 3.8 R.P.M. 接地壓力 0.8 kg/cm²
 ブーム長さ 6000 mm 掘器ハンドル長さ 5000 mm 最大カツチング高さ 8200 mm 最大カツチング半径 9550 mm
 最大ダンピング高さ 5350 mm 最大ダンピング半径 8550 mm 最大ドイツキング深さ 2100 mm
 原動機 キャタピラー D 13000 ディーゼル發動機 900 R.P.M. 120 IP 1 基